

# 日本音響学会誌, Acoustical Science and Technology

## 投稿規定

一般社団法人日本音響学会 編集委員会  
令和2年1月改定

### 目次

- I 名称と内容
- II 原稿の種別
- III 二重投稿の禁止
- IV 和文誌のページ数と掲載料及びページ超過料金・電子版別刷り (PDF 形式)
- V 英文誌のページ数と掲載料及びページ超過料金
- VI 投稿者の資格
- VII 倫理面での配慮
- VIII 著作権
- IX 原稿提出 (投稿時) から掲載までの手続きと採否の決定 (和文誌)
- X 原稿提出 (投稿時) から掲載までの手続きと採否の決定 (英文誌)
- XI 和文誌の原稿 (本文) 執筆要項
- XII 英文誌の原稿 (本文) 執筆要項
- XIII 採録時における最終提出物 (和文誌)
- XIV 採録時における最終提出物 (英文誌)

### I 名称と内容

一般社団法人日本音響学会は、日本音響学会誌 (以下、和文誌という) を毎月、Acoustical Science and Technology (以下、英文誌という) を奇数月に刊行する。

和文誌には、会員からの投稿原稿として論文、技術報告、研究速報、総説、寄書、技術プラザ (賛助会員のページ)、及び編集委員会からの依頼原稿として展望、講演、解説等を掲載する。英文誌には、投稿原稿として Paper, Technical Report, Acoustical Letter, Review, Short Note, Translated Paper, Translated Letter 及び編集委員会からの依頼原稿として Tutorial 等を掲載する。

本稿では、投稿原稿に関する規定を記す。

### II 原稿の種別

#### 1. 和文誌

- (1) **論文** 音響学に関係ある研究や技術開発、あるいは教育手法の成果をとりまとめた論文で、その内容が、学術や産業上、あるいは音響教育上興味がある、又は、有意義であるもの。
- (2) **技術報告** 試験結果・計測結果・設計資料、並びに教育手法やそれに関わる技術の開発などで、音響に関する技術や教育の進展に資する内容であるもの。
- (3) **研究速報** 萌芽的研究や試験研究・調査の成果等で、速報性が重視されるもの。
- (4) **総説** 音響学に関連する分野の研究状況を広い視野からまとめたもの。
- (5) **寄書** 討論、教育に関する報告、学会に対する意見や提案など。
- (6) **技術プラザ** 本学会賛助会員が開発した技術・製品あるいは製品開発のコンセプトの紹介、技術上の意見交換など。

#### 2. 英文誌

- (1) **Paper** 和文誌の論文と同じ。
- (2) **Technical Report** 和文誌の技術報告と同じ。
- (3) **Acoustical Letter** 和文誌の研究速報と同じ。
- (4) **Review** 和文誌の総説と同じ。
- (5) **Short Note** 和文誌の寄書と同じ。

(6) **Translated Paper/Translated Letter** 和文誌に掲載された論文等で、英訳して英文誌に掲載することが適当であると編集委員会が判断したもの（研究速報の英訳の場合は特に Translated Letter と表示する）。和文原著論文等の正確な英訳であること。ただし、新たな査読付き Paper あるいは Acoustical Letter としては認められない。

なお、Translated Paper 及び Translated Letter の脚注には、対訳となった和文誌の論文あるいは研究速報の掲載日等の情報が記載される。

### Ⅲ 二重投稿の禁止

和文誌の論文、技術報告、研究速報、総説、寄書、及び英文誌の Paper, Technical Report, Acoustical Letter, Review, Short Note は、既に本学会和文誌、英文誌及び他学会誌等に発表されたもの、発表されることになっているもの、あるいは投稿中のものであってはならない。ただし、研究速報及び Acoustical Letter に発表した内容を充実させて和文誌の論文、技術報告、英文誌の Paper, Technical Report として投稿することができる。著作権が他にある著作物及び二重投稿の禁止等については、後掲の付録“投稿のガイドライン”を参照のこと。

なお、Translated Paper 及び Translated Letter は、元となる論文又は研究速報が採録となった日以降から投稿を行うことができる。また、Translated Letter の場合、元となる研究速報が掲載された日から6か月以内の投稿が望ましい。

### Ⅳ 和文誌のページ数と掲載料及びページ超過料金・電子版別刷り（PDF 形式）

1. 和文誌の刷り上がり規定ページ数と最大超過ページ数は表-1 に示すとおりとする。

表-1 和文誌の刷り上がり規定ページ数と最大超過ページ数

種 別	刷り上がり規定ページ数	最大超過ページ数*
論 文 技術報告 総 説	8 ページ以内	4
研究速報	4 ページ以内	0
技術プラザ	4 ページ以内	0
寄 書	1 ページ	2

(注 1) 和文誌の刷り上がり 1 ページは約 2,160 字（技術プラザは 1,892 字）である。ただし、最初のページには題名、氏名、所属を記載するために約 720 字分が必要である。また、著者紹介のスペースとして、1 人当たり約 200 字が必要である。

(注 2) 投稿時の見積りページ数が制限（刷り上がりページ数と最大超過ページ数の合計）を明らかに超える場合は、査読前に再提出を求められることがある。

(注 3) 研究速報及び技術プラザの刷り上がりページは 4 ページ以内である。5 ページ以上の掲載ページ数は認められない。

2. 掲載料及びページ超過料金

表-1 に示す刷り上がり規定ページまでは、掲載料として、ページ数×10,000 円を徴収する。

表-1 に示す刷り上がり規定のページ数を超過した場合には追加で、表-2 に示すページ超過料金が追加で課せられる。

表-2 和文誌の掲載料とページ超過料金

種 別	掲載料	ページ超過料金
論 文 技術報告 総 説 寄 書	ページ数× 10,000 円	1 ページ：15,000 円
		2 ページ：35,000 円
		3 ページ：60,000 円
		4 ページ：90,000 円
研究速報 技術プラザ		5 ページ以上の掲載ページ数は認められない。Ⅳ（注 3）

(注4) 特別の理由があって編集委員会が認めた場合には、表-1 に示す最大超過ページ数を超えることができる。ただし、最大超過ページ数を超えたページ超過料金は、1 ページ当たり 35,000 円とする。

### 3. 電子版別刷 (PDF 形式)

該当する論文等が掲載された学会誌の発行後、著者に電子版別刷 (PDF 形式) のダウンロード先とパスワードを知らせる (平成 27 年 1 月発行分の論文等より、印刷した別刷りを廃止した)。

(注5) 著者が自らの論文等の電子版別刷 (PDF 形式) を著者の関わる研究や教育に **Ⅷ 著作権** のもとで利用できる。不特定多数に対して公開される Web サイトなどへの掲載は、掲載学会誌の発行後 1 年間は控えること。また、当学会以外が開催する商用の講習会での配布については学会事務局に連絡し、指示を受けること。

## V 英文誌のページ数と掲載料及びページ超過料金

### 1. 英文誌の刷り上がり規定ページ数と最大超過ページ数は表-3 に示すとおりとする。

表-3 英文誌の刷り上がり規定ページ数と最大超過ページ数

種 別	刷り上がり規定ページ数	最大超過ページ数*
Paper Technical Report Review Translated Paper	8 ページ以内	4
Acoustical Letter Short Note Translated Letter	4 ページ以内	0

\*超過ページ分の費用は著者が負担する (2. 参照)。

(注1) 英文誌の刷り上がりは、1 ページ当たり 1,050 語である。ただし、Paper, Technical Report, Review, Translated Paper は、最初の 1 ページは題名、氏名、所属、アブストラクトに 700 語程度が必要である。また、著者紹介のスペースとして 1 人当たり 150 語程度が必要である。Acoustical Letter, Short Note, Translated Letter では、題名、氏名、所属に 400 語程度が必要である。

(注2) Acoustical Letter, Short Note, Translated Letter の刷り上がりページは 4 ページ以内である。5 ページ以上の掲載ページ数は認められない。

### 2. 掲載料及びページ超過料金

平成 24 年 1 月より、英文誌はオンラインのみの出版となったので、別刷印刷は行わない。

表-3 に示す投稿論文の著者は、原稿の種別ごとに表-4 に示す掲載料を支払うものとする。

表-3 に示す規定のページ数を超過した場合には、表-4 に示すページ超過料金が追加で課せられる。

表-4 英文誌の掲載料とページ超過料金

種 別	掲載料	ページ超過料金
Paper Technical Report Review Translated Paper	40,000 円	1 ページ：10,000 円 2 ページ：25,000 円 3 ページ：40,000 円 4 ページ：60,000 円
Acoustical Letter Short Note Translated Letter	20,000 円	5 ページ以上の掲載 ページ数は認められ ない。V (注2)

(注3) 特別の理由があって、編集委員会が認めた場合には、表-3 の最大超過ページ数の制限を超えることができる。ただし、最大超過ページ数を超えたページ超過料金は、1 ページ当たり 20,000 円とする。投稿時の見積りページ数が最大超過ページ数制限を明らかに超える場合は、査読前に再提出を求められることがある。

(注4) 原稿を LaTeX 形式によって投稿した場合(“XII 英文誌の原稿(本文)執筆要項”参照), 掲載料は表-4に示す料金の2割引きとする。この割引きはページ超過料等には適用されない。

### 3. 英文校閲の費用について

“XII 英文誌の原稿(本文)執筆要項”のとおり, 最終原稿について, 原則として学会による英文校閲を行うが, この料金(刷り上がり1ページ当たり5,000円以内)が上記の料金に付加される。詳細は後掲を参照のこと。

### 4. 掲載料の計算例(下記料金が英文校閲料が加算される)

(例1) 刷り上がり8ページのPaperの場合

40,000円(税別)(掲載料のみ)

(例2) 刷り上がり9ページのPaperの場合

40,000円(掲載料)+10,000円(ページ超過料金)=50,000円(税別)

(例3) 刷り上がり10ページのPaperで, 原稿を LaTeX 形式で提出した場合

40,000円(掲載料)×80%+25,000円(ページ超過料金)=57,000円(税別)

### 5. 掲載料の免除

著者の経済的理由により掲載料の支払が困難な場合には, その一部又は全額を免除することがある。その場合, 当該論文の掲載はページ数に余裕がある号とし, 掲載時期が遅れることがある。この掲載料の免除については, 著者の申し出に基づくこととし, その適用については編集委員会で論文の内容及び経済的理由などを考慮して決定する。原則として, ページ超過のある原稿は免除対象からはずれる。

## VI 投稿者の資格

### 1. 和文誌

投稿原稿のうち論文, 研究速報, 技術報告, 総説, 寄書の筆頭著者は投稿時に本学会会員でありかつ年会費を納付しているものに限る。連名者は非会員も認める。また, 技術プラザへの投稿は原則として賛助会員に限るが, 編集委員会が特に認めた場合はそれ以外の者の投稿を認めることがある。なお, 投稿原稿(技術プラザを除く)の著者は, 法人及び組織名での投稿は認めない。また, いったん投稿された投稿原稿の著者を変更することは認めない。著者を変更する場合は, いったん投稿を取り下げて, 再投稿すること。

### 2. 英文誌

特に制限は設けない。なお, 投稿原稿の著者は, 法人及び組織名での投稿は認めない。また, いったん投稿された投稿原稿の著者を変更することは認めない。著者を変更する場合は, いったん投稿を取り下げて, 再投稿すること。

## VII 倫理面での配慮

下記に該当する場合はその旨を投稿原稿中に明記する必要がある。

### 1. 利益相反に関して

利益相反が存在する場合(疑いのある場合も含む)には, 筆者は原稿中でその情報(金銭授受, 人間関係等)を開示しなければならない。

### 2. プライバシー保護(インフォームドコンセント)に関して

実験・調査の対象者(以下, 実験参加者)のプライバシーは十分に尊重されなければならない。実験参加者の個人を同定できるような情報は, 原則として公開してはならない。ただし, 記事の目的上公開が必要な場合は, 実験参加者へ事前に説明の上で許諾を取り, 原稿中でその旨を明記すること。

### 3. 人間・動物を対象とした研究倫理に関して

人間を対象とした実験・調査が含まれる場合, 研究機関・国・自治体等が定める倫理的な基準, 及び, ヘルシンキ宣言に, 研究手法が準拠しており, その旨が明記されていること。その基準に抵触する恐れがある場合には, 手法が倫理上適切なものであり, 所属機関の倫理委員会の承認が得られていること。

実験動物を用いた研究の場合, 機関や国が実験動物の保護等について定めるガイドラインにその手法が準拠していること。

## VIII 著作権

和文誌, 英文誌に掲載された論文等の著作権(著作財産権, Copyright)は日本音響学会に帰属する。また, 掲載され

た論文等には、クリエイティブ・コモンズ「表示・改変禁止 4.0 国際」ライセンス (CC-BY-ND) が適用される。これ以外の条件による論文等の利用に関しては、日本音響学会による個別の許諾を必要とする。ただし、著者自身が翻訳などで利用することは差しつかえない。上記ライセンスに関しては、下記 Web サイトを参照のこと。

<https://creativecommons.jp/licenses/>

## IX 原稿提出（投稿時）から掲載までの手続きと採否の決定（和文誌）

投稿は学会の投稿用 Web サイトから行うこと。投稿用 Web サイトへは学会ホームページ (<https://acoustics.jp/>) からアクセスできる。投稿原稿（本文）のテンプレート、必要書式はホームページからダウンロードできる。テンプレートには MS-Word 形式と LaTeX 形式がある。

### 1. 投稿の方法

学会ホームページから投稿用 Web サイトに入り、「著者」→「ユーザ登録」で必要事項を入力。パスワードを e-mail で受領後、同様の経路から「ログイン」→「投稿者アカウント」→「投稿フォーム」に入り、投稿の手続きを行う。「投稿フォーム」は、以下の内容について入力する。作成上の注意事項は以下に記載してあるほか、同「投稿フォーム」に付記してある。

#### (1) 「論文情報」

a. 「Subject Classification No.(PACS No.): PACS 2010 Appendix for Acoustics—Acoustics Appendix (APPENDIX TO 43: ACOUSTICS) から該当するものを選ぶ。(本会ホームページ「投稿関連文書」(<https://acoustics.jp/journal/kitei/>) からリンクされている)

b. 「原稿の種類」

c. 「原稿の性質」

d. 「分類」

e. 「和文題名」及び「英文 Title」: 題名はできるだけ簡潔にする（和文題名は、40 字以内とすることが望ましい）。「○○の研究 第○報」のような題名は避ける。また、原則として略語は使用しない。当該分野で十分認知されていない用語は使わない。「新～」など主観的な表記は避ける。

(2) 「投稿論文:査読用 PDF ファイル」: 後掲の“XI 和文誌の原稿（本文）執筆要項”に従って作成した投稿原稿をアップロードする。複数ファイルのアップロードが可能。

(3) 「著者 (\* 連絡者)」: 入力内容は、連絡者の指定、著者氏名（和英）、所属（和英）。投稿後の著者の変更は原則として認めないので慎重を期すこと。

(4) 「連絡先」

(5) 「著者校正送付先」

(6) 「掲載時の設定」学会誌への掲載時に記載する連絡先及び著者紹介の掲載について記入。

(7) 「編集委員会への連絡」

a. 編集委員会もしくは研究委員会の推薦がある場合には、関連する発表の原稿や発表会の情報を記入すること。

b. 再投稿の場合は前回の論文番号を記入。上記のほか、特に編集委員会へ連絡したいことを記入。

c. 投稿する原稿に関する既発表があれば、その論文等を PDF 形式（バージョン 1.4 以上）で添えることが望ましい。

(8) 「キーワード・要旨」

a. 「キーワード」は、日本語とその英訳を 5 個程度記入。

b. 「要旨」日本語は 300 字以内。英語は 200 語以内（研究速報は 150 語以内）。要旨では、本文中の図表及び参考文献は引用しない。和文誌の英文要旨は、英文誌に掲載するため印刷前に、学会において指定業者に英文校閲を依頼する。校閲結果は直ちに著者に連絡するので、著者は校閲結果を参考に、英文要旨の最終原稿を学会に提出する。

(9) 「提出物」原稿の種類に基づいて、表-5 に示したものを提出すること。

表-5 和文誌への提出原稿の構成

提出原稿の構成	論文	技術報告	研究速報	総説	寄書	技術プラザ
和文要旨	○	○		○		
英文要旨	○	○	○	○		
本文	○	○	○	○	○	○

(注1) 投稿時の原稿は原則として PDF ファイル (バージョン 1.4 以上) に変換すること。

(注2) 本学会の研究発表会等で発表した内容を研究速報又は Acoustical Letter として投稿する場合には、講演論文等を PDF ファイル (バージョン 1.4 以上) として原稿と共に提出してもよい。

問合せ・送付先: 〒 101-0021 東京都千代田区外神田 2-18-20 ナカウラ第5ビル2階

一般社団法人 日本音響学会編集委員会 Tel. 03-5256-1020, Fax: 03-5256-1022

e-mail: asj-editcom-sec@acoustics.jp

## 2. 査読

編集委員会では投稿論文の掲載の可否の判断にあたり、査読者に意見を求める。査読基本方針等は、後掲の付録“査読について”を参照のこと。

- (1) 原稿の修正を求めた際、著者に返送後3か月(ただし、研究速報については1か月)を経過しても再提出されない場合は、受付登録が取り消される。
- (2) 英文要旨の英文校閲用の原稿は書式が異なるので、“XII 英文誌の原稿(本文執筆要項)「3. 英文校閲制度について」”を参照のこと。

## 3. 採否の決定

- (1) 編集委員会において掲載の可否が決定され次第、その旨を著者に通知する。
- (2) 著者は、採録の通知を受け取り次第、速やかに投稿原稿の原本及び著者紹介を学会に送付する。Web投稿の場合も最終原稿は郵便、宅配便等で送付する。最終原稿の提出にあたっては、後述の“XIII 採録時における最終提出物(和文誌)”に従って作成すること。この原本は編集委員会が採録を決定した原稿と同じものでなければならない。

## 4. 掲載号の決定

会誌の目次は、刊行(毎月1日)のおおよそ3か月前に決定する。掲載が決まり次第学会から連絡する。

## 5. 著者校正

刊行日(毎月1日)の30日~40日程度前に学会誌の刊行を委託している“学会誌刊行センター”から初校の校正について依頼があるので、校正刷り到着後、指定された日(通常数日)までに返送する。

- (1) 校正の際には、採録決定時の内容・表現などを一切変更してはならない。
- (2) 数式、数値、図、表、文の脱落・誤記には十分注意する。

## X 原稿提出(投稿時)から掲載までの手続きと採否の決定(英文誌)

投稿は学会の投稿用 Web サイトから行うこと。投稿用 Web サイトへは学会ホームページ (<https://acoustics.jp/>) からアクセスできる。投稿原稿(本文)のテンプレート、必要書式はホームページからダウンロードできる。テンプレートには MS-Word 形式と LaTeX 形式がある。

### 1. 投稿の方法

学会ホームページから投稿 Web サイト (ScholarOne) にアクセスし、ID を作成の上、投稿する。投稿の手順及びパスワードの変更などは、学会ホームページにあるマニュアルを参照のこと。

編集委員会への連絡事項は“Cover Letter”へ入力する

- a. 英文誌への投稿で、英文校閲を受けない場合の理由を“著者又は著者の一部に英語を母語とするものがいて、十分吟味している。”、“独自に添削業者に依頼している。”などのように記入。なお、英文校閲を受けない旨連絡があった場合でも、編集委員会が必要と認めた場合は、英文校閲を受けることになる。
- b. Acoustical Letter の投稿で、編集委員会の推薦がある場合には、その旨と該当講演の年、季、講演番号等を記入。
- c. 編集委員会から研究委員会の推薦があった旨連絡がある場合には、その旨と発表番号を記入。
- d. 再投稿の場合は前回の論文番号を記入。

上記のほか、特に編集委員会へ連絡したいことを記入。

本学会の研究発表会等で発表した内容を Acoustical Letter として投稿する場合には、講演論文等を PDF ファイル (バージョン 1.4 以上) として原稿と共に提出してもよい。

問合せ先: 〒 101-0021 東京都千代田区外神田 2-18-20 ナカウラ第5ビル2階

一般社団法人 日本音響学会編集委員会 Tel. 03-5256-1020, Fax: 03-5256-1022

e-mail: asj-editcom-sec@acoustics.jp

## 2. 査 読

編集委員会では投稿論文の掲載の可否の判断にあたり、査読者に意見を求める。査読基本方針等は、後掲の付録“査読について”を参照のこと。

- (1) 原稿の修正を求めた際、著者に返送後3か月（ただし、Acoustical Letterについては1か月）を経過しても再提出されない場合は、受付登録が取り消される。
- (2) 英文校閲用の原稿は書式が異なるので、“XII 英文誌の原稿（本文）執筆要項”「3. 英文校閲制度について」を参照のこと。

## 3. 採否の決定

- (1) 編集委員会において掲載の可否が決定され次第、その旨を著者に通知する。
- (2) 著者は、採録の通知を受け取り次第、速やかに投稿原稿の編集可能な電子ファイルを ScholarOne にアップロードすること。この編集可能な電子ファイルは編集委員会が採録を決定した原稿と同じものでなければならない。

## 4. 掲載号の決定

会誌の目次は、刊行（毎月1日）のおおよそ3か月前に決定する。掲載が決まり次第学会から連絡する。

## 5. 著者校正

刊行日（毎月1日）の30日～40日程度前に学会誌の刊行を委託している“学会誌刊行センター”から初校の校正について依頼があるので、校正刷り到着後、指定された日（通常数日）までに返送する。

- (1) 校正の際には、採録決定時の内容・表現などを一切変更してはならない。
- (2) 数式、数値、図、表、文の脱落・誤記には十分注意する。

## XI 和文誌の原稿（本文）執筆要項

### 1. 一般事項

- (1) 用紙は A4 判縦長とする。学会ホームページより LaTeX 版又は MS-Word 版のテンプレートをダウンロードして用いること。テンプレートは日本音響学会ホームページの「投稿関連文書」(<https://acoustics.jp/journal/kitei/>)からダウンロードできる。
- (2) 文章は横書き、現代仮名づかいにより、「である」体で書く。
- (3) 漢字はなるべく常用漢字、数値はアラビア数字を用いる。
- (4) 学術用語は、文部省学術用語集、JIS「音響用語」等に従う。なお、本学会編の「音響用語辞典（コロナ社）」も参考とされたい。
- (5) 単位は原則として SI 単位系を用いる（JIS Z 8203 参照）。
- (6) 論文題目には、原則として略語は使用しない。また、当該分野で十分認知されていない用語を使わない。「新しい～」「優れた～」など主観的な表記は避ける。
- (7) 副題をつける場合は、副題の前後に一（全角ダッシュ）を付けること。

### 2. 本 文

#### 〈書式〉

- (1) 全体の書式はテンプレートに従う。
- (2) 論文、技術報告などでは章の表題に通し番号をつける。  
(例：1. はしがき) ただし、寄書では章と節の区分はつけない。
- (3) 脚注は避ける。

#### 〈数式〉

- (1) 数式を文章の中に入れる場合には、 $(a+b)/(c+d)$ 、 $\exp(j\omega t)$ 、 $\exp(-t/a)$  などのように書く。別行とする場合に限り、

$$\frac{a+b}{c+d} \quad e^{j\omega t} \quad \exp\left(-\frac{t}{a}\right)$$

などのように書いてもよい。

- (2) 式を別行とするときには、式1行を2行分とする。長い式は1行に納まる長さで区切って行を改める。
- (3) 二重添字、指数の添字、一般には使用されていない文字記号などは不可。

## 〈文字・活字〉

- (1) ドイツ文字はなるべく使用しない。
- (2) 小数点は (.) とし、コンマ (,) は用いない。
- (3) 諸記号の字体は表-6 のとおりとする。

表-6 諸記号の字体

(種別)	(字体)	(例)
数学的演算記号	立体	sin, sinh
単位記号	立体	cm, km, MΩ
ベクトル量	イタリック (ボールド)	速度 $V$ , 力 $F$
量記号	イタリック	周波数 $f$ , 長さ $l$
化学記号	立体	H <sub>2</sub> O, BaTiO <sub>2</sub>

- (4) 量記号は、原則としてラテン語又はギリシャ語のアルファベットの一字とし、場合によっては、添字又はその他の修飾用符号を付けることができる (JIS Z 8202-0 の 3.1.1 参照)。
- (5) 単位記号には、量の特別な性質又は関与した測定状況に関する情報を示す手段として、どんな修飾記号であれ付加してはならない (JIS Z 8202-0 の 3.2.1 参照)。

(例 1)  $U_{\max} = 500 \text{ V}$  ( $U = 500 \text{ V}_{\max}$  とはしない)

(例 2)  $L_{pA} = 43 \text{ dB}$  ( $L_p = 43 \text{ dBA}$  とはしない)

論文中で使う単位記号については、ホームページの「投稿関連文書」(<https://acoustics.jp/journal/kitei/>)に記載の「量の記述と単位について」も参照のこと。

## 〈引用文献記載法と記載例〉

- (1) 文献は本文の最後にまとめ、文献の著者名は原則として全員の氏名を記載する。

表記法…引用順に番号を付す。本文中での引用方法は、本文中の文字と同じ文字の大ききで [1], [1, 2], [1-3, 6] のように文献番号を記入する。文献の記載は次による。

- a. 雑誌 (学会誌等) の場合… [引用番号] 著者全員の氏名, “題目,” 雑誌名, 巻, 開始ページ-終了ページ (年).

(例 1) [1] M. Yamada and T. Tsumura, “Do piano lessons improve basic temporal controllability of maintaining a uniform tempo?,” *J. Acoust. Soc. Jpn. (E)*, **19**, 121-131 (1998).

(例 2) [2] J. Hasegawa and K. Kobayashi, “Blood flow noise transducer for detecting intracranial vascular deformations,” *Acoust. Sci. & Tech.*, **22**, 5-11 (2001).

(例 3) [3] 石原豊彦, 佐山周次, 宮川幸雄, 筒井英人, “海底反射音場に関する一様漸近解,” 音響学会誌, **54**, 434-442 (1998).

- b. 書籍等の場合… [引用番号] 著者全員の氏名, 書籍名 (出版社, 所在地, 年), pp. 開始ページ-終了ページ.

(例 4) [4] W. M. Hartman, *Signals, Sound, and Sensation* (AIP Press, New York, 1997), pp. 180-185.

(例 5) [5] R. Lyon and S. Shamma, “Auditory representations of timbre and pitch,” in *Auditory Computation*, H. L. Hawkins, T. A. McMullen, A. N. Popper and R. R. Fay, Eds. (Springer-Verlag, New York, 1996), Chap. 6, pp. 225-230.

- c. 音響学会講演論文集の場合… [引用番号] 著者全員の氏名, “題目,” 雑誌名, pp. 開始ページ-終了ページ (年.月).

(例 6) [6] 寺尾道仁, 関根秀久, “インテンシティ測定におけるベアマイクロホン自体の散乱の影響について,” 音講論集, pp. 479-480 (1980.10).

- d. 毎号 1 ページから始まる等, 号の表記がないと開始ページの特定ができない雑誌の場合… [引用番号] 著者全員の氏名, “題目,” 雑誌名, 巻(号), pp. 開始ページ-終了ページ (年).

(例 7) [7] 前川英樹, “メディア産業における技術・事業・制度,” ITU ジャーナル, **31**(6), pp. 50-54 (2001).

- e. 国際会議録に掲載された一論文の場合 (ただし会議録を通してページ数が振られていない場合は, 対象の論文のページ数のみを  $n$  pages と表記する) … [引用番号] 著者全員の氏名, “題目,” 会議録名, pp. 開始ページ-終了ページ (年).

(例 8) [8] E. Tsunoo, T. Akase, N. Ono and S. Sagayama, “Music mood classification by rhythm and bass-line unit pattern analysis,” *Proc. Int. Conf. Acoust. Speech Signal Process.*, pp. 265-268 (2010).

(例 9) [9] N. H. Fletcher, “Inverse problems in musical acoustics,” *Proc. 20th Int. Congr. Acoust.*, 4 pages (2010).

- f. Web コンテンツとしてのみ公開されている資料の場合… [引用番号] 著者名, “ウェブページの題名,” URL (参照



入手日付).

(例10) [10] 日本音楽著作権協会, “音楽電子透かし4社を技術認定し, ネット上の違法利用の発生防止に活用,”  
[http://www.jasrac.or.jp/release/01/10\\_2.html](http://www.jasrac.or.jp/release/01/10_2.html) (参照 2011-09-11).

## (2) 注意事項

- a. 文献表記に従って記入された英文文献の一部については, Web 上で公開している J-STAGE のリンクサービスを受けることができる。
- b. 「号がないと特定できない雑誌」等 (例7), 書籍等 (例4, 5), あるいは「日本音響学会研究発表会論文集」等の文献 (例6) については, それぞれの例に従って文献を記載すること。ただし, J-STAGE におけるリンクサービスは受けられない。
- c. 私信, preprint のような一般に入手し難いものは引用を避けることを原則とするが, 他研究者の priority を尊重する上で必要な場合は, その内容を本文中に簡潔に記した上で, 文献の出所を明らかにする。
- d. 継続性の低いもの (例えば Web コンテンツ) の引用はできる限り避けること。

## 3. 図・写真

### 〈書式〉

- (1) 図, 写真は, 図-1, 図-2 又は Fig. 1, Fig. 2 のように通し番号とする。テンプレートを利用しない原稿の場合, その番号に対応する表題, 説明文を一覧に作成, 別紙に書き, 本文の末尾に付ける。
- (2) 図は, 線画, 文字, 記号等すべてそのまま図版として使用できるように体裁よく作成する。
- (3) 印刷は白黒印刷であるので, 図は白黒印刷されたときに判読可能であること。また, 本文中の図の説明も白黒印刷を前提にすること。

### 〈図の大きさ〉

刷り上がりスペース (表題, 説明文を含む) は, 原則として片段 (ヨコ 65 mm), 又は段抜き (ヨコ 125 mm) とする。スペースは概ね以下のとおりである。

タテ寸法	50 mm
片 段	和文約 270 文字, 英文約 600 ストローク
段抜き	和文約 540 文字, 英文約 1,200 ストローク

### 〈図中の文字と線〉

- (1) 図中の文字, 単位記号は, できるだけ本文中のものと同じフォントを使用する。
- (2) 図の表題, 説明文及び図中の文字は英文, 和文のどちらでもよい。
- (3) 製版後の修正は困難であるので, 図中の文字, 記号, 単位などには特に注意する。
- (4) 図中の線は, 縮小印刷してもかすれない太さ (0.05 mm 以上) にする。

### 〈写真・特殊印刷〉

- (1) 写真は解像度が十分なファイルを添付すること。その他は図の場合に準じて扱い, 番号も図と分けずに通し番号とする。
- (2) 印刷は通常白黒印刷となる。どうしてもカラー印刷とすることがある場合は, 別途カラー印刷費用を著者が負担するものとする。アート紙使用などその他の特殊印刷を希望する場合も, それにかかる費用の差額は著者が負担する。

### 〈その他〉

図などを他の出版物から引用する場合は, 著者並びに出版社から了解を得て, 出典を明記すること。

## 4. 表

- (1) 表は折り込みとなるような大きさのものは不可。縦横の罫線はなるべく少なくする。
- (2) 表の番号は表-1, 表-2 又は Table 1, Table 2 のように通し番号にし, 表の番号, 表題などは表の上に書く。
- (3) 表の表題, 説明文及び表中の文字は英文, 和文のどちらでもよい。

## XII 英文誌の原稿 (本文) 執筆要項

### 1. 一般事項

- (1) 使用言語は英語に限る。英文は正確な意味を伝える文章とし, 十分に推敲する。また, 編集委員会で不要と認めるときを除き, 採録決定後, 学会所定の業者による英文校閲が行われる (「3. 英文校閲制度について」を参照のこ

と)。

- (2) 用紙は A4 判縦長とする。学会ホームページより LaTeX 版又は MS-Word 版のテンプレートをダウンロードして用いること。
- (3) 本要項に特記されていない事項はすべて“XI 和文誌の原稿執筆要項”に従う。
- (4) 論文題目には、当該分野で十分認知されていない用語を使わない。原則として略語は使用しない。「New～」 「Novel～」 など主観的な表記は避ける。
- (5) 副題をつける場合は、主題の後に：(コロン) を用いること。
- (6) 50 ストローク以内の Short Running Title (奇数ページに入れる簡略化した題目) を指定すること。

## 2. 本文

本文における文献の引用は、前述の“XI 和文誌の原稿 (本文) 執筆要項”と同様とする。なお、英文以外の論文を引用する場合には、(in Japanese) 等の記述を付加する。

## 3. 英文校閲制度について

採録決定した原稿には、編集委員会が不必要と認める場合を除き、学会が契約した校閲業者による英文校閲を行う。著者は、校閲済み (朱入れ) を参考に印刷のための最終原稿を作成すること。なお、著者の責任において論文内容が採録の条件から逸脱しないよう注意する。

校閲結果に対する問い合わせ等は、原則として受け付けない。

校閲料金として刷り上り 1 ページ当たり 5,000 円が著者に請求される。ただし、校閲が軽微で済む場合には、請求額は上記を下回ることがある。なお、請求は掲載料と同時に行われる。

### 〈英文校閲用の原稿の仕様について〉

原稿サイズ：A4 判

文字サイズ：12 pt

1 ページ当たりの行数：25 行のワード形式、もしくはテキストファイル

※図の説明文の一覧も送付。

※ LaTeX で作成の場合は、LaTeX テンプレートに付属のスタイルファイル `prepr.clo` を利用して 1 段組・ダブルスペースの出力で作成し、PDF ファイル (バージョン 1.4 以上) に変換する。`prepr.clo` を利用するには、LaTeX のスタイル指定で、`\documentclass[paper,prepr]{acoust}` のように、オプションとして `prepr` を指定する。(letter, techrep, shortnote についても同様)

## XIII 採録時における最終提出物 (和文誌)

1. 電子データ 提出するデータは、以下のいずれかの形式とする。和文文字コードは Shift-JIS とする。編集可能なファイルと PDF ファイル (バージョン 1.4 以上) を提出する。
  - (1) LaTeX ファイル：学会があらかじめ準備している (<https://acoustics.jp/journal/kitei/>) スタイルファイルに従って作成したものに限る。
  - (2) MS-Word ファイル及びテキストファイル：MS-Word で作成した原稿を提出する場合は、同一ファイルをテキスト形式に変換し、MS-Word ファイル及びテキストファイル両方を提出する。MS-Word は、Windows 版又は macOS 版のどちらで作成したものでもかまわない。
  - (3) テキストファイル：LaTeX ファイル、MS-Word ファイル以外のファイルは、テキスト形式に変換し、テキストファイルのみを提出する。
  - (4) PDF ファイル (バージョン 1.4 以上)
2. 図形・画像データと表 LaTeX ファイルと、MS-Word ファイル、テキストファイルとは、取り扱いが違うので注意する。編集可能なファイルと PDF (バージョン 1.4 以上) を提出する。
  - (1) LaTeX ファイル：LaTeX ソースファイルと、コンパイルに必要な図形・画像データファイルを提出する。画像の刷り上がりの大きさは、原則として LaTeX ソースファイルの指定に依存する。表は、原則として、LaTeX ソースファイルに書き入れても、図形・画像データの形でも、いずれでもかまわない。
  - (2) MS-Word ファイル：図形・画像データの電子データも提出することが望ましいが、すべてが電子データでなくともかまわない。刷り上がりの画像の大きさ (片段・段抜きの別) は、当該図形・画像の紙出力に付記する。各々の図形・画像の電子データは、それぞれ個別のファイルとして提出する。表は、本文 MS-Word ファイル中の表

でも、図形・画像データでも、いずれで提出してもかまわない。

- (3) テキストファイル：図形・画像データの電子データも提出することが望ましいが、すべてが電子データでなくてもかまわない。刷り上がりの画像の大きさ（片段・段抜きの別）は、当該図形・画像の紙出力に付記する。各々の図形・画像の電子データは、それぞれ個別のファイルとして提出する。表の取り扱いは、図形・画像データに準ずる。
- (4) 複雑な式：複雑な式がある場合は、図形・画像データと同様の取り扱いをしてもかまわない。
- (5) 図形・画像データによっては、電子データの形式が取り扱いできない可能性もあるので、紙出力はできるだけきれいなものを提出する。

### 3. メディア

- (1) 電子データを記録するメディアは、CD-ROM や USB メモリなど汎用的なものとする。
- (2) 提出するメディアのラベル表示：表示内容は、論文番号、筆頭著者名、データ形式、ファイル名（拡張子も明記）、OS とする。このうちファイル名は、別紙で提出してもかまわない。

### 4. 著者紹介

- (1) 論文と技術報告については、著者全員のプロフィールと顔写真（電子データ）を添付する。プロフィールは、100 文字程度とする。
- (2) 著者の希望により著者紹介を省略してもよい。また、プロフィールのみの掲載も受け付ける。
- (3) 原稿の執筆及び提出の要領は、上記の本文記載内容に準じる。

### 5. 最終原稿の構成

表-7 により、最終原稿を事務局に送付すること。不明点は学会事務局に問い合わせること。

表-7 和文誌への提出原稿の構成

提出原稿の構成	論文	技術報告	研究速報	総説	寄書	技術プラザ
和文要旨	○	○		○		
英文要旨	○	○	○	○		
本文	○	○	○	○	○	○

## XIV 採録時における最終提出物（英文誌）

1. 電子データ 提出するデータは、以下のいずれかの形式とする。編集可能なファイルと PDF ファイル（バージョン 1.4 以上）を提出する。
  - (1) LaTeX ファイル：学会があらかじめ準備している (<https://acoustics.jp/journal/kitei/>) スタイルファイルに従って作成したものに限る。
  - (2) MS-Word ファイル及びテキストファイル：MS-Word で作成した原稿を提出する場合は、同一ファイルをテキスト形式に変換し、MS-Word ファイル及びテキストファイル両方を提出する。MS-Word は、Windows 版又は macOS 版のどちらで作成したものでもかまわない。
  - (3) テキストファイル：LaTeX ファイル、MS-Word ファイル以外のファイルは、テキスト形式に変換し、テキストファイルのみを提出する。
  - (4) 最終提出原稿として PDF ファイルは受け付けない。
2. 図形・画像データと表 LaTeX ファイルと、MS-Word ファイル、テキストファイルとでは、取り扱いが違うので注意する。編集可能なファイルと PDF ファイル（バージョン 1.4 以上）を提出する。
  - (1) LaTeX ファイル：LaTeX ソースファイルと、コンパイルに必要な図形・画像データファイルを提出する。画像の刷り上がりの大きさは、原則として LaTeX ソースファイルの指定に依存する。表は、原則として、LaTeX ソースファイルに書き入れても、図形・画像データの形でも、いずれでもかまわない。
  - (2) MS-Word ファイル：図形・画像データの電子データも提出することが望ましいが、すべてが電子データでなくてもかまわない。刷り上がりの画像の大きさ（片段・段抜きの別）は、当該図形・画像の紙出力に付記する。各々の図形・画像の電子データは、それぞれ個別のファイルとして提出する。表は、本文 MS-Word ファイル中の表でも、図形・画像データでも、いずれで提出してもかまわない。

(3) テキストファイル：図形・画像データの電子データも提出することが望ましいが、すべてが電子データでなくともかまわない。刷り上がりの画像の大きさ（片段・段抜きの別）は、当該図形・画像の紙出力に付記する。各々の図形・画像の電子データは、それぞれ個別のファイルとして提出する。表の取り扱いは、図形・画像データに準ずる。

(4) 複雑な式：複雑な式がある場合は、図形・画像データと同様の取り扱いをしてもかまわない。

(5) 図形・画像データによっては、電子データの形式が取り扱いできない可能性もあるので、紙出力はできるだけきれいなものを提出する。

3. 著者紹介 テンプレートファイルを用いている場合は、原稿の中に記述する。

テンプレートファイルを用いていない場合は、

(1) Paper と Technical Report については、著者全員のプロフィールと顔写真(電子ファイル)を添付する。プロフィールは、英文 360 ストローク程度とする。

(2) 著者の希望により著者紹介を省略してもよい。また、プロフィールのみの掲載も受け付ける。

(3) 原稿の執筆及び提出の要領は、上記の本文記載内容に準じる。

4. ランニングタイトル

50 ストローク以内の Short Running Title (奇数ページに入れる簡略化した題目)

論文に関する問い合わせ及び送付先

〒 101-0021 東京都千代田区外神田 2-18-20 ナカウラ第 5 ビル 2 階

一般社団法人 日本音響学会編集委員会 Tel. 03-5256-1020, Fax: 03-5256-1022

e-mail: asj-editcom-sec@acoustics.jp

日本音響学会誌（和文誌）及び Acoustical Science and Technology 誌（英文誌）への投稿物は、以下の条件を満たす必要がある。

### 1. 著作権が他にある著作物の投稿禁止

- (1) 他の著者により著された著作物の内容と同一あるいは極めて類似した内容を投稿してはならない。
- (2) 他者が著作権を保有する著作物に掲載された図表等の素材を、著作権者に無断で使用してはならない。
- (3) 投稿者自身が著者であっても著作権が他者にある場合には、著作権者の了解なしにその内容を投稿してはならない。

### 2. 二重投稿の禁止

- (1) 既に本学会和文誌・英文誌あるいは他学会誌に査読を経て掲載された、あるいは投稿中の同一著者あるいはその一部の著者により著された著作物の内容と同一、あるいは極めて類似した内容を含む著作物を投稿してはならない。なお、本項及び以下の項において「掲載」とは冊子等の紙媒体による方法だけでなく、インターネット等を用いた電子的な方法によるものも含む。
- (2) 投稿物と同一著者あるいはその一部の著者により著された著作物の内容と同一、あるいは極めて類似した内容であっても、下記の媒体に掲載された場合には、「1.」に記載した問題が生じていないこと、適切な引用を行うことを条件として、二重投稿とはみなさない。
  - ① 音響学会あるいはその他の学会等が主催する研究発表会、研究会、セミナー並びに国際会議等の概要集
  - ② 特許公報
  - ③ 大学の卒業論文、修士論文、博士論文
  - ④ 大学あるいは企業の技術報告
  - ⑤ 各種研究費の成果報告
  - ⑥ その他、上記と同類と判断できる媒体
- (3) 上記の規程に従うかどうか明瞭に決められない場合については、編集委員会で検討することとする。

## 査 読 に つ い て

## 査読の基本方針とプロセス

## 1. 査 読 の 目 的

投稿された論文等が査読の基準に照らして掲載可能かどうかを判定するのが査読の目的です。そのままでは掲載できませんが、短期間で修正が可能と判断される場合には、掲載のための条件を明示して修正を求めることとします。この場合、掲載のための条件とは別に論文等を一層良くするための参考意見が付されることがありますが、これはあくまでも参考であり、論文指導は査読の目的ではありません。論文内容の価値判断は読者によってなされ、論文等の内容に関する責任は著者に帰すものです。

和文誌に掲載された論文を英訳した論文（Translated Paper）については、内容が元の論文と同一であることを確認する目的で査読を行います。

## 2. 査 読 の 基 準

論文等は、次の判定項目に照らして査読され、掲載の可否が判断されます。

〈分野性〉 音響学及びその応用分野に関係するものであること。なお、分野はできるだけ広く解釈する。

〈新規性〉 内容が公知・既発表でないこと。ただし、既知の要素を組み合わせたことにより、新たな視点や機能等が認められる場合には、新規性を認める。

〈有効性〉 内容が産業や学術の発展に何等かの意味で役立つものであること。

〈了解性〉 論旨が関連分野の会員に十分理解できるように、簡潔・明瞭に記述されていること。ただし、著しい厳密性・完璧さ・格調の高さ等は必ずしも必要としない。

〈信頼性〉 論旨に矛盾がなく、結論等を信頼する上で明確な根拠が示されていること。

〈体裁〉 投稿規定に従って原稿が構成され、記述されていること。

論文等は、原則として以上の諸項目を満たしていることが必要ですが、以下に例示するように、その内容や性格によって査読にあたっての重点の置きかたが異なります。

- ・有効性が高い場合には新規性はさほど高くなくてもよく、新規性が高い場合には有効性はさほど高くなくてもよい。
- ・寄書や Short Note のうち、速報的内容のものは新規性に、記録的価値を主眼としたものは有効性に重点を置く。
- ・技術報告や Technical Report は有効性及び信頼性に重点を置く。
- ・研究速報、Acoustical Letter は新規性及び有効性のいずれかに重点を置き、速報性を重視する。
- ・総説や Review については、有効性及び了解性に重点をおく。新規性については、類似の分野や対象についてほぼ同じ立場から論じたものが近年に公表されていなければよいものとする。
- ・新しいシステムの開発結果を紹介すること等を内容とする論文にあつては、信頼性を示すための査読参考資料としてビデオ等のメディアを提示してよい。

## 3. 査読の判定と原稿の修正

論文等は、上記の基準に照らした査読の結果に基づいて、次のいずれかに判定されます。

(1) そのまま掲載可。

(2) 条件付掲載可。掲載可とするためには、幾つかの条件を満たす必要があり、そのための修正が所定の期間内で可能であると判断された場合。

(3) 掲載不相当。

(2) と判定された論文等には「掲載の条件」が具体的に示されますので、著者はその条件を満たすように原稿を修正して下さい。修正原稿の提出期限は学会事務局から発送後3か月以内（ただし研究速報、Acoustical Letter は1か月以内）としますが、修正原稿を早く提出すればそれだけその後の処理が早く進みます。期限を過ぎた原稿は取り下げられたものと判断します。(2) の判定に基づく原稿の修正は原則として1回までとします。この修正において指摘事項に沿った改善がみられない場合には(3) と判定されます。なお、研究速報、Acoustical Letter については、速報性を重視するため、(2) の判定は掲載の条件が軽微で、かつ極めて短期間に修正が可能であると判断された場合のみ行われます。

(3) と判定された論文等には、掲載不相当とする理由が明示されます。この判定は必ずしも内容に価値がないという判断を示すものではありません。掲載の条件が極めて多岐にわたり、1回だけの修正では掲載の条件を満たすことが見込めない場合も含まれます。その場合には、不相当とされた理由に基づいて十分な検討を行った上で、再投稿されることが期待されます。

## CLASSIFICATION OF SUBJECTS

The Classification listed here is the Appendix to Section 43, "Acoustics," of the *Physics and Astronomy Classification Scheme (PACS)* —2010, of the American Institute of Physics. The PACS scheme is used to index *The Journal of the Acoustical Society of America* as well as material on acoustics in other physics journals.

An online version of PACS is available on AIP's World Wide Web server and is accessible with browsers such as Netscape Navigator or MSIE. The uniform resource locator (URL) for this document is: <http://www.aip.org/pacs/>. ASCII and WordPerfect versions of PACS are also available for anonymous ftp retrieval at: <ftp.aip.org> (192.58.150.10) in the PACS subdirectory.

### APPENDIX TO 43: ACOUSTICS

The detailed headings of this Appendix correspond to the scheme used by the Journal of the Acoustical Society of America.

43.05. - k	Acoustical Society of America ( <i>in PACS, see also 01.10.Hx</i> )	43.20.Ks	Standing waves, resonance, normal modes ( <i>see also 43.25.Gf, 43.40.Ai, and 43.55.Br</i> )	43.28.Kt	Aerothermoacoustics and combustion acoustics
43.05.Bp	Constitution and bylaws	43.20.Mv	Waveguides, wave propagation in tubes and ducts	43.28.Lv	Statistical characteristics of sound fields and propagation parameters ( <i>see also 43.50.Rq, 43.60.Cg</i> )
43.05.Dr	History	43.20.Px	Transient radiation and scattering	43.28.Mw	Shock and blast waves, sonic boom ( <i>see also 43.25.Cb and 43.50.Pn</i> )
43.05.Ft	Honorary members	43.20.Rz	Steady-state radiation from sources, impedance, radiation patterns, boundary element methods	43.28.Py	Interaction of fluid motion and sound, Doppler effect, and sound in flow ducts
43.05.Gv	Publications, ARLO, Echoes, ASA Web page, electronic archives and references	43.20.Tb	Interaction of vibrating structures with surrounding medium ( <i>see also 43.40.Ry</i> )	43.28.Ra	Generation of sound by fluid flow, aerodynamic sound and turbulence
43.05.Hw	Meetings	43.20.Wd	Analogies	43.28.Tc	Sound-in-air measurements, methods and instrumentation for location, navigation, altimetry, and sound ranging ( <i>see also 43.30.Vh and 43.58. - e</i> )
43.05.Ky	Members and membership lists, personal notes, fellows	43.20.Ye	Measurement methods and instrumentation ( <i>see also 43.58. - e</i> )		
43.05.Ma	Administrative committee activities	43.25. - x	<b>Nonlinear acoustics</b>		
43.05.Nb	Technical committee activities; Technical Council	43.25.Ba	Parameters of nonlinearity of the medium	43.28.Vd	Measurement methods and instrumentation to determine or evaluate atmospheric parameters, winds, turbulence, temperatures, and pollutants in air ( <i>see also 43.58. - e</i> )
43.05.Pc	Prizes, medals, and other awards	43.25.Cb	Macrosonic propagation, finite amplitude sound; shock waves ( <i>see also 43.28.Mw and 43.30.Lz</i> )	43.28.We	Measurement methods and instrumentation for remote sensing and for inverse problems ( <i>see also 43.58. - e</i> )
43.05.Re	Regional chapters	43.25.Dc	Nonlinear acoustics of solids		
43.05.Sf	Obituaries	43.25.Ed	Effect of nonlinearity on velocity and attenuation		
43.10. - a	<b>General</b>	43.25.Fe	Effect of nonlinearity on acoustic surface waves	43.30. - k	<b>Underwater sound</b>
43.10.Ce	Conferences, lectures, and announcements (not of the Acoustical Society of America) ( <i>in PACS, see also 01.10.Cr and 01.10.Fv</i> )	43.25.Gf	Standing waves; resonance ( <i>see also 43.20.Ks</i> )	43.30.Bp	Normal mode propagation of sound in water
43.10.Df	Other acoustical societies and their publications, online journals, and other electronic publications	43.25.Hg	Interaction of intense sound waves with noise	43.30.Cq	Ray propagation of sound in water
43.10.Eg	Biographical, historical, and personal notes (not of the Acoustical Society of America) ( <i>in PACS, see also 01.60.+q</i> )	43.25.Jh	Reflection, refraction, interference, scattering, and diffraction of intense sound waves ( <i>see also 43.30.La and 43.20.Fn</i> )	43.30.Dr	Hybrid and asymptotic propagation theories, related experiments
43.10.Gi	Editorials, Forum	43.25.Lj	Parametric arrays, interaction of sound with sound, virtual sources ( <i>see also 43.30.Lz</i> )	43.30.Es	Velocity, attenuation, refraction, and diffraction in water, Doppler effect
43.10.Hj	Books and book reviews ( <i>in PACS, see also 01.30.Vv</i> )	43.25.Nm	Acoustic streaming	43.30.Ft	Volume scattering
43.10.Jk	Bibliographies ( <i>in PACS, see also 01.30.Tt</i> )	43.25.Qp	Radiation pressure ( <i>see also 43.58.Pw</i> )	43.30.Gv	Backscattering, echoes, and reverberation in water due to combinations of boundaries
43.10.Km	Patents	43.25.Rq	Solitons, chaos	43.30.Hw	Rough interface scattering
43.10.Ln	Surveys and tutorial papers relating to acoustics research; tutorial papers on applied acoustics	43.25.Ts	Nonlinear acoustical and dynamical systems	43.30.Jx	Radiation from objects vibrating under water, acoustic and mechanical impedance ( <i>see also 43.58.Bh</i> )
43.10.Mq	Tutorial papers of historical and philosophical nature	43.25.Uv	Acoustic levitation	43.30.Ky	Structures and materials for absorbing sound in water; propagation in fluid-filled permeable material
43.10.Nq	News with relevance to acoustics, nonacoustical theories of interest to acoustics	43.25.Vt	Intense sound sources	43.30.Lz	Underwater applications of nonlinear acoustics; explosions ( <i>see also 43.25.Cb, Lj</i> )
43.10.Pr	Information technology, internet, nonacoustical devices of interest to acoustics	43.25.Yw	Nonlinear acoustics of bubbly liquids	43.30.Ma	Acoustics of sediments; ice covers, viscoelastic media; seismic underwater acoustics
43.10.Qs	Notes relating to acoustics as a profession	43.25.Zx	Measurement methods and instrumentation for nonlinear acoustics ( <i>see also 43.58. - e</i> )	43.30.Nb	Noise in water; generation mechanisms and characteristics of the field ( <i>see also 43.50.Nm and 43.28.Ra</i> )
43.10.Sv	Education in acoustics, tutorial papers of interest to acoustics educators ( <i>in PACS, see also 01.40. - d and 01.50. - i</i> )	43.28. - g	<b>Aeroacoustics and atmospheric sound</b>	43.30.Pc	Ocean parameter estimation by acoustical methods; remote sensing; imaging, inversion, acoustic tomography
43.10.Vx	Errata	43.28.Bj	Mechanisms affecting sound propagation in air, sound speed in the air	43.30.Qd	Global scale acoustics; ocean basin thermometry, transbasin acoustics
43.15. + s	<b>Standards</b> ( <i>in PACS, see also 06.20.fh</i> )	43.28.Dm	Infrasound and acoustic-gravity waves	43.30.Re	Signal coherence or fluctuation due to sound propagation/scattering in the ocean
43.20. - f	<b>General linear acoustics</b>	43.28.En	Interaction of sound with ground surfaces, ground cover and topography, acoustic impedance of outdoor surfaces	43.30.Sf	Acoustical detection of marine life: passive and active
43.20.Bi	Mathematical theory of wave propagation ( <i>see also 43.40.Ai</i> )	43.28.Fp	Outdoor sound propagation through a stationary atmosphere, meteorological factors ( <i>see also 43.50.Vt</i> )	43.30.Tg	Navigational instruments using underwater sound
43.20.Dk	Ray acoustics	43.28.Gq	Outdoor sound propagation and scattering in a turbulent atmosphere, and in non-uniform flow fields	43.30.Vh	Active sonar systems
43.20.El	Reflection, refraction, diffraction of acoustic waves ( <i>see also 43.30.Es</i> )	43.28.Hr	Outdoor sound sources ( <i>see also 43.50.Lj, Nm, Sr</i> )	43.30.Wi	Passive sonar systems and algorithms, matched field processing in underwater acoustics ( <i>see also 43.60.Kx</i> )
43.20.Fn	Scattering of acoustic waves ( <i>see also 43.30.Ft, Gv, Hw</i> )	43.28.Js	Numerical models for outdoor propagation		
43.20.Gp	Reflection, refraction, diffraction, interference, and scattering of elastic and poroelastic waves				
43.20.Hq	Velocity and attenuation of acoustic waves ( <i>see also 43.30.Bp, Cq, Es and 43.35.Ae, Bf, Cg</i> )				
43.20.Jr	Velocity and attenuation of elastic and poroelastic waves				

43.30.Xm	Underwater measurement and calibration instrumentation and procedures ( <i>see also 43.58. - e</i> )	43.38.Lc	Amplifiers, attenuators, and audio controls	43.50.Qp	Effects of noise on man and society ( <i>see also 43.66.Ed, and 43.80.Nd</i> )
43.30.Yj	Transducers and transducer arrays for underwater sound; transducer calibration ( <i>see also 43.58.Vb</i> )	43.38.Md	Sound recording and reproducing systems, general concepts	43.50.Rq	Environmental noise, measurement, analysis, statistical characteristics
43.30.Zk	Experimental modeling	43.38.Ne	Mechanical, optical, and photographic recording and reproducing systems	43.50.Sr	Community noise, noise zoning, by-laws, and legislation
43.35. - c	<b>Ultrasonics, quantum acoustics, and physical effects of sound</b>	43.38.Pf	Hydroacoustic and hydraulic transducers	43.50.Vt	Topographical and meteorological factors in noise propagation
43.35.Ae	Ultrasonic velocity, dispersion, scattering, diffraction, and attenuation in gases	43.38.Qg	Magnetic and electrostatic recording and reproducing systems	43.50.Yw	Instrumentation and techniques for noise measurement and analysis ( <i>see also 43.58. - e</i> )
43.35.Bf	Ultrasonic velocity, dispersion, scattering, diffraction, and attenuation in liquids, liquid crystals, suspensions, and emulsions ( <i>see also 43.30.Es, Ft, Gv, Hw</i> )	43.38.Rh	Surface acoustic wave transducers ( <i>see also 43.25.Fe and 43.35.Pt</i> )	43.55. - n	<b>Architectural acoustics</b>
43.35.Cg	Ultrasonic velocity, dispersion, scattering, diffraction, and attenuation in solids; elastic constants ( <i>see also 43.20.Gb, Jr</i> )	43.38.Si	Telephones, earphones, sound power telephones, and intercommunication systems	43.55.Br	Room acoustics; theory and experiment; reverberation, normal modes, diffusion, transient and steady-state response ( <i>see also 43.20.Fn, Ks</i> )
43.35.Dh	Preterersonics (sound of frequency above 10 GHz); Brillouin scattering	43.38.Tj	Public address systems, sound-reinforcement systems ( <i>see also 43.55.Jz</i> )	43.55.Cs	Stationary response of rooms to noise; spatial statistics of room response; random testing
43.35.Ei	Acoustic cavitation in liquids ( <i>see also 43.30.Nb</i> )	43.38.Vk	Stereophonic reproduction	43.55.Dt	Sound absorption in enclosures; theory and measurement; use of absorption in offices, commercial and domestic spaces ( <i>see also 43.50.Jh</i> )
43.35.Fj	Ultrasonic relaxation processes in gases, liquids, and solids	43.38.Wl	Broadcasting (radio and television)	43.55.Ev	Sound absorption properties of materials; theory and measurement of sound absorption coefficients; acoustic impedance and admittance
43.35.Gk	Phonons in crystal lattices, quantum acoustics ( <i>in PACS, see also 63.20. - e</i> )	43.38.Yn	Impulse transducers	43.55.Fw	Auditorium and enclosure design ( <i>see also 43.50.Gf, Jh</i> )
43.35.Hl	Sonoluminescence	43.38.Zp	Acoustooptic and photoacoustic transducers ( <i>see also 43.35.Sx</i> )	43.55.Gx	Studies of existing auditoria and enclosures
43.35.Kp	Plasma acoustics ( <i>in PACS, see also 52.35.Dm</i> )	43.40. - r	<b>Structural acoustics and vibration</b>	43.55.Hy	Subjective effects in room acoustics, speech in rooms
43.35.Lq	Low-temperature acoustics, sound in liquid helium ( <i>in PACS, see also 67.25.dt</i> )	43.40.At	Experimental and theoretical studies of vibrating systems ( <i>see also 43.20.Bi, Ks, Rz</i> )	43.55.Jz	Sound-reinforcement systems for rooms and enclosures ( <i>see also 43.38.Tj</i> )
43.35.Mr	Acoustics of viscoelastic materials	43.40.Cw	Vibrations of strings, rods, and beams	43.55.Ka	Computer simulation of acoustics in enclosures, modeling ( <i>see also 43.58.Ta</i> )
43.35.Ns	Acoustical properties of thin films ( <i>in PACS, see also 68.60.Bs</i> )	43.40.Dx	Vibrations of membranes and plates	43.55.Lb	Electrical simulation of reverberation
43.35.Pt	Surface waves in solids and liquids ( <i>in PACS, see also 68.35.Iv and 62.60. + v</i> )	43.40.Ey	Vibrations of shells	43.55.Mc	Room acoustics measuring instruments, computer measurement of room properties ( <i>see also 43.58.Fm</i> )
43.35.Rw	Magnetoacoustic effect; oscillations and resonance ( <i>in PACS, see also 75.80. + q and 72.55. + s</i> )	43.40.Fz	Acoustic scattering by elastic structures	43.55.Nd	Reverberation room design; theory, applications to measurements of sound absorption, transmission loss, sound power
43.35.Sx	Acoustooptical effects, optoacoustics, acoustical visualization, acoustical microscopy, and acoustical holography ( <i>see also 43.60.Gk, Sx; in PACS, see also 78.20.hb</i> )	43.40.Ga	Nonlinear vibration	43.55.Pe	Anechoic chamber design, wedges
43.35.Ty	Other physical effects of sound	43.40.Hb	Random vibration	43.55.Rg	Sound transmission through walls and through ducts: theory and measurement
43.35.Ud	Thermoacoustics, high temperature acoustics, photoacoustic effect	43.40.Jc	Shock and shock reduction and absorption	43.55.Ti	Sound-isolating structures, values of transmission coefficients ( <i>see also 43.50.Jh</i> )
43.35.Vz	Chemical effects of ultrasound	43.40.Kd	Impact and impact reduction, mechanical transients	43.55.Vj	Vibration-isolating supports in building acoustics ( <i>see also 43.40.Tm; in PACS, see 07.10.Fq</i> )
43.35.Wa	Biological effects of ultrasound, ultrasonic tomography ( <i>see also 43.40.Ng and 43.80.Gx, Jz, Sh</i> )	43.40.Le	Techniques for nondestructive evaluation and monitoring, acoustic emission ( <i>see also 43.35.Zc</i> )	43.55.Wk	Damping of panels
43.35.Xd	Nuclear acoustical resonance, acoustical magnetic resonance	43.40.Le	Techniques for nondestructive evaluation and monitoring, acoustic emission ( <i>see also 43.35.Zc</i> )	43.58. - e	<b>Acoustical measurements and instrumentation</b> ( <i>see also specific sections for specialized instrumentation</i> )
43.35.Yb	Ultrasonic instrumentation and measurement techniques ( <i>see also 43.58. - e</i> )	43.40.Lf	Effects of vibration and shock on biological systems, including man ( <i>see also 43.35.Wa, 43.50.Qp, and 43.80. - n</i> )	43.58.Bh	Acoustic impedance measurement ( <i>see also 43.30.Ix, 43.20.Rz, and 43.40.Yq</i> )
43.35.Zc	Use of ultrasonics in nondestructive testing, industrial processes, and industrial products	43.40.Lg	Seismology and geophysical prospecting; seismographs	43.58.Dj	Sound velocity
43.38. - p	<b>Transduction; acoustical devices for the generation and reproduction of sound</b>	43.40.Lh	Effect of sound on structures, fatigue; spatial statistics of structural vibration	43.58.Fm	Sound level meters, level recorders, sound pressure, particle velocity, and sound intensity measurements, meters, and controllers ( <i>see also 43.55.Mc</i> )
43.38.Ar	Transducing principles, materials, and structures: general ( <i>see also 43.30.Yj and 43.40.Yq</i> )	43.40.Li	Radiation from vibrating structures into fluid media	43.58.Gn	Acoustic impulse analyzers and measurements
43.38.Bs	Electrostatic transducers	43.40.Lj	Inverse problems in structural acoustics and vibration	43.58.Hp	Tuning forks, frequency standards; frequency measuring and recording instruments; time standards and chronographs
43.38.Ct	Magnetostrictive transducers	43.40.Lk	Vibration isolators, attenuators, and dampers ( <i>see also 43.55.Vj</i> )	43.58.Jq	Wave and tone synthesizers
43.38.Dv	Electromagnetic and electrodynamic transducers	43.40.Ll	Active vibration control	43.58.Kr	Spectrum and frequency analyzers and filters; acoustical and electrical oscillographs; photoacoustic spectrometers; acoustical delay lines and resonators ( <i>see also 43.40.Sk</i> )
43.38.Ew	Feedback transducers	43.40.Lm	Instrumentation and techniques for tests and measurement relating to shock and vibration, including vibration pickups, indicators, and generators, mechanical impedance	43.58.Ls	Acoustical lenses and microscopes ( <i>see also 43.35.Sx</i> )
43.38.Fx	Piezoelectric and ferroelectric transducers	43.40.Ln	Noise: its effects and control	43.58.Mt	Phase meters
43.38.Gy	Semiconductor transducers	43.40.Lo	Noisiness: rating methods and criteria		
43.38.Hz	Transducer arrays, acoustic interaction effects in arrays ( <i>see also 43.30.Yj</i> )	43.40.Lp	Noise spectra, determination of sound power		
43.38.Ja	Loudspeakers and horns, practical sound sources ( <i>see also 43.20.Rz and 43.38.Tj</i> )	43.40.Lq	Noise generation ( <i>see also 43.28.Ra</i> )		
43.38.Kb	Microphones and their calibration ( <i>see also 43.30.Yj and 43.40.Yq</i> )	43.40.Lr	Noise masking systems		
		43.40.Ls	Noise control at source: redesign, application of absorptive materials and reactive elements, mufflers, noise silencers, noise barriers, and attenuators, etc. ( <i>see also 43.55.Dt</i> )		
		43.40.Lt	Noise control at the ear ( <i>see also 43.66.Vl</i> )		
		43.40.Lu	Noise in buildings and general machinery noise ( <i>see also 43.55.Ev, Fu, Rg</i> )		
		43.40.Lv	Active noise control		
		43.40.Lw	Transportation noise sources: air, road, rail, and marine vehicles		
		43.40.Lx	Aerodynamic and jet noise ( <i>see also 43.28.Ra</i> )		
		43.40.Ly	Impulse noise and noise due to impact ( <i>see also 43.40.Kd</i> )		



43.58.Pw	Rayleigh disks ( <i>see also</i> 43.25.Qp)	43.64.Wn	Effects of noise and trauma on the auditory system	43.72.Fx	Talker identification and adaptation algorithms
43.58.Ry	Distortion: frequency, nonlinear, phase, and transient; measurement of distortion	43.64.Yp	Instruments and methods ( <i>see also</i> 43.58. - e)	43.72.Gy	Narrow, medium, and wideband speech coding
43.58.Ta	Computers and computer programs in acoustics ( <i>see also</i> 43.75.Wx, 43.55.Ka, 43.60.Gk, and 43.70.Jt)	43.66. - x	<b>Psychological acoustics</b>	43.72.Ja	Speech synthesis and synthesis techniques
43.58.Vb	Calibration of acoustical devices and systems	43.66.Ba	Models and theories of auditory processes	43.72.Kb	Speech communication systems and dialogue systems
43.58.Wc	Electrical and mechanical oscillators	43.66.Cb	Loudness, absolute threshold	43.72.Lc	Time and frequency alignment procedures for speech
43.60. - c	<b>Acoustic signal processing</b>	43.66.Dc	Masking	43.72.Ne	Automatic speech recognition systems
43.60.Ac	Theory of acoustic signal processing	43.66.Ed	Auditory fatigue, temporary threshold shift	43.72.Pf	Automatic talker recognition systems
43.60.Bf	Acoustic signal detection and classification, applications to control systems	43.66.Fe	Discrimination: intensity and frequency	43.72.Qr	Automatic talker recognition systems
43.60.Cg	Statistical properties of signals and noise	43.66.Gf	Detection and discrimination of sound by animals	43.72.Zz	<b>Music and musical instruments</b>
43.60.Dh	Signal processing for communications: telephony and telemetry, sound pickup and reproduction, multimedia	43.66.Hg	Pitch	43.75. - z	Scales, intonation, vibrato, composition
43.60.Ek	Acoustic signal coding, morphology, and transformation	43.66.Jh	Timbre, timbre in musical acoustics	43.75.Be	Music perception and cognition
43.60.Fg	Acoustic array systems and processing, beam-forming	43.66.Ki	Subjective tones	43.75.Cd	Bowed stringed instruments
43.60.Gk	Space-time signal processing, other than matched field processing ( <i>see also</i> 43.35.Sx)	43.66.Lj	Perceptual effects of sound ( <i>see also</i> 43.71. - k)	43.75.De	Woodwinds
43.60.Hj	Time-frequency signal processing, wavelets	43.66.Mk	Temporal and sequential aspects of hearing; auditory grouping in relation to music	43.75.Ef	Brass instruments and other lip-vibrated instruments
43.60.Jn	Source localization and parameter estimation	43.66.Nm	Phase effects	43.75.Fg	Plucked string instruments
43.60.Kx	Matched field processing ( <i>see also</i> 43.30.Wt)	43.66.Pn	Binaural hearing	43.75.Gh	Drums
43.60.Lq	Acoustic imaging, displays, pattern recognition, feature extraction	43.66.Qp	Localization of sound sources	43.75.Hi	Bells, gongs, cymbals, mallet percussion, and similar instruments
43.60.Mn	Adaptive processing	43.66.Rq	Dichotic listening	43.75.Kk	Free reed instruments
43.60.Np	Acoustic signal processing techniques for neural nets and learning systems	43.66.Sr	Deafness, audiometry, aging effects	43.75.Lm	Pianos and other struck string instruments
43.60.Pt	Signal processing techniques for acoustic inverse problems	43.66.Ts	Auditory prostheses, hearing aids	43.75.Mn	Pipe organs
43.60.Qv	Signal processing instrumentation, integrated systems, smart transducers, devices and architectures, displays and interfaces for acoustic systems ( <i>see also</i> 43.58. - e)	43.66.Vt	Hearing protection ( <i>see also</i> 43.50.Hg)	43.75.Np	Reed woodwind instruments
43.60.Rw	Remote sensing methods, acoustic tomography	43.66.Wv	Vibration and tactile senses	43.75.Pq	Flutes and similar wind instruments
43.60.Sx	Acoustic holography	43.66.Yw	Instruments and methods related to hearing and its measurement ( <i>see also</i> 43.58. - e)	43.75.Qr	Singing
43.60.Tj	Wave front reconstruction, acoustic time-reversal, and phase conjugation	43.70. - h	<b>Speech production</b>	43.75.Rs	Musical performance, training, and analysis
43.60.Uv	Model-based signal processing	43.70.Aj	Anatomy and physiology of the vocal tract, speech aerodynamics, auditory kinetics	43.75.St	Electro-acoustic and electronic instruments
43.60.Vx	Acoustic sensing and acquisition	43.70.Bk	Models and theories of speech production	43.75.Tv	Electronic and computer music
43.60.Wy	Non-stationary signal analysis, nonlinear systems, and higher order statistics	43.70.Dn	Disordered speech	43.75.Wx	Automatic music recognition, classification, and information retrieval
43.64. - q	<b>Physiological acoustics</b>	43.70.Ep	Development of speech production	43.75.Xz	Instrumentation and measurement methods for musical acoustics
43.64.Bt	Models and theories of the auditory system	43.70.Fq	Acoustical correlates of phonetic segments and suprasegmental properties: stress, timing, and intonation	43.75.Yy	Analysis, synthesis, and processing of musical sounds
43.64.Dw	Anatomy of the cochlea and auditory nerve	43.70.Gr	Larynx anatomy and function; voice production characteristics	43.80. - n	<b>Bioacoustics</b>
43.64.Fy	Anatomy of the auditory central nervous system	43.70.Jt	Instrumentation and methodology for speech production research	43.80.Cs	Acoustical characteristics of biological media: molecular species, cellular level tissues
43.64.Gz	Biochemistry and pharmacology of the auditory system	43.70.Kv	Cross-linguistic speech production and acoustics	43.80.Ev	Acoustical measurement methods in biological systems and media
43.64.Ha	Acoustical properties of the outer ear; middle-ear mechanics and reflex	43.70.Mn	Relations between speech production and perception	43.80.Gx	Mechanisms of action of acoustic energy on biological systems: physical processes, sites of action ( <i>in PACS, see also</i> 87.50.Y-)
43.64.Jb	Otoacoustic emissions	43.71. - k	<b>Speech perception</b>	43.80.Jz	Use of acoustic energy (with or without other forms) in studies of structure and function of biological systems ( <i>in PACS, see also</i> 87.50.Y-)
43.64.Kc	Cochlear mechanics	43.71.An	Models and theories of speech perception ( <i>see also</i> 43.66.Ba)	43.80.Ka	Sound production by animals: mechanisms, characteristics, populations, biosonar ( <i>see also</i> 43.30.Nb and 43.64.Tr)
43.64.Ld	Physiology of hair cells	43.71.Bp	Perception of voice and talker characteristics	43.80.Lb	Sound reception by animals: anatomy, physiology, auditory capacities, processing ( <i>see also</i> 43.64.Tr, 43.66.Gf)
43.64.Me	Effects of electrical stimulation, cochlear implant	43.71.Es	Vowel and consonant perception; perception of words, sentences, and fluent speech ( <i>see also</i> 43.66.Lf)	43.80.Nd	Effects of noise on animals and associated behavior, protective mechanisms ( <i>see also</i> 43.50.Qp, 43.64.Tr)
43.64.Nf	Cochlear electrophysiology	43.71.Ft	Development of speech perception (intelligibility and quality)	43.80.Pe	Agroacoustics
43.64.Pg	Electrophysiology of the auditory nerve	43.71.Gv	Measures of speech perception (intelligibility and quality)	43.80.Qf	Medical diagnosis with acoustics ( <i>in PACS, see also</i> 87.63.D-)
43.64.Qh	Electrophysiology of the auditory central nervous system	43.71.Hw	Cross-language perception of speech	43.80.Sh	Medical use of ultrasonics for tissue modification (permanent and temporary) ( <i>in PACS, see also</i> 87.50.Y-)
43.64.Ri	Evoked responses to sounds	43.71.Ky	Speech perception by the hearing impaired ( <i>see also</i> 43.66.Ts)	43.80.Vj	Acoustical medical instrumentation and measurement techniques ( <i>see also</i> 43.66.Ts and 43.58. - e)
43.64.Sj	Neural responses to speech	43.71.Lz	Speech perception by the aging		
43.64.Tk	Physiology of sound generation and detection by animals	43.71.Qr	Neurophysiology of speech perception		
43.64.Vm	Physiology of the somatosensory system	43.71.Rt	Sensory mechanisms in speech perception		
		43.71.Sy	Spoken language processing by humans		
		43.72. - p	<b>Speech processing and communication systems</b>		
		43.72.Ar	Speech analysis and analysis techniques; parametric representation of speech		
		43.72.Bs	Neural networks for speech recognition		
		43.72.Ct	Acoustical methods for determining vocal tract shapes		
		43.72.Dv	Speech-noise interaction		

## 日本音響学会誌・Acoustical Science and Technology 論文投稿チェックリスト

本チェックリストは投稿時に必要な手続きを確認し、投稿・査読処理を円滑にするためのものです。和文誌の論文・技術報告・研究速報・総説・寄書、英文誌の Paper・Technical Report・Acoustical Letter・Short Note・Review・Translated Paper・Translated Letter の中から該当する項目を確認した上で左側□内にノを付けて、投稿前に各自で確認して下さい。なお、本チェックリストは、日本音響学会のホームページ「投稿関連文書」<https://acoustics.jp/journal/kitei/> から取得できます。

### 和文誌の論文・技術報告・研究速報・総説・寄書の場合

#### 英文誌の Paper・Technical Report・Acoustical Letter・Short Note・Review・Translated Paper・Translated Letter の場合

##### 和文誌の要旨（研究速報、寄書では不要）

- 表題・著者名・所属を頭書きしてある。
- 300 字以内で書かれている。
- 本文の図表は引用していない。

##### 和文誌の英文アブストラクト（寄書では不要）

- 表題・著者名・所属を頭書きしてある。
- 語数は、200 語（1,000 ストローク）以内、研究速報は 150 語（750 ストローク）以内で書かれている。

##### 英文誌の Abstract（Acoustical Letter・Short Note では不要）

- 表題・著者名を頭書きしてある。
- 200 語（1,000 ストローク）以内で書かれている。

### 本文

以下の項目が本文に記載されている。

#### 和文論文

- a. Subject Classification No.（本学会誌に掲載の投稿規定参照）。
- b. 原稿の種類（論文・技術報告・研究速報・総説・寄書等）。
- c. 題名 和文（40 字以内が望ましい）とその英訳。
- d. 著者名 複数人の場合、各々の和文とローマ字（full name）。
- e. 所属 複数人の場合、各々の和文。
- f. キーワード 論文、技術報告、研究速報、寄書には、和文とその英訳に関して 5 個程度。
- g. 連絡先 論文の脚注に掲載する連絡先として住所か e-mail アドレスを選択。

#### 英文論文

- a. Subject Classification No.（本学会誌に掲載の投稿規定参照）。
- b. 原稿の種類（Paper・Technical Report・Acoustical Letter・Short Note・Review・Translated Paper・Translated Letter）。
- c. 題名 英文（副題を付ける場合は：（コロン）を用いること）。
- d. 著者名。
- e. 所属 複数人の場合、各々の英文。
- f. Keywords（5 個程度）。
- g. 連絡先 連絡先として論文の脚注に掲載する e-mail アドレス。

文章は横書き、「である」体を用いている。

専門用語や固有名詞以外は、常用漢字の範囲で書いてある。

数字はアラビア数字を用いている。

学術用語は、文部省学術用語集、JIS「音響用語」、本学会編「音響用語辞典」等に基づいている。

A4 白用紙を縦長に使用し、1 行 24 字、1 ページ 30 行、行間 4 mm 以上で作成してある。

LaTeX を利用しない場合：A4 白用紙を縦長に使用し、フォントは 12 ポイント、1 行の印字幅は 15 cm、行間は 1 行半以上で作成してある。

本文には 1 ページからの通しページを紙の下部に記入してある。

章の表題に通し番号をつけてある（例えば、1. まえがき）。

脚注は用いていない。

諸記号の字体に注意している。特に数学的演算記号・単位記号・化学記号の字体は立体を用いている（例えば、 $\sin(2\omega t)$  でなく  $\sin(2\omega t) \cdot \text{kHz}$  でなく kHz）。

参考文献は、投稿規定の表記法に従って記述してある。

参考文献での和文の論文・書籍の引用では、著者全員の氏名をフルネームで明記してある。

提出する PDF ファイルに、フォントを埋め込んである。

図・写真・表（学会が供給している LaTeX スタイルファイルを用いずに編集した場合）

- 図・写真・表一つ当たり、紙1枚を用いている。
- 図・写真に関しては、Fig. 1, Fig. 2（和文では図-1、図-2も可）のように通し番号を付けて本文中で引用している。
- 図・写真に関する説明文は、まとめて別紙に記述してある。
- 表については、Table 1, Table 2（和文では表-1、表-2も可）のように通し番号を付けて本文中で引用している。
- 表に関する説明文は、別紙ではなく表の上に記述してある。
- 図は、刷り上がり時に片段に収めたい場合は左右65mm、段抜きで入れるときは左右125mmを限度とし、その刷り上がり時の約2倍（面積4倍）の大きさで描いてある。
- 各紙下部余白に番号・論文表題の略・著者名・希望の横寸法（65/125mm）を記入してある。
- 図中の文字は、刷り上がり時の約2倍の大きさにおいて、14ポイント（天地：大文字4mm、小文字3mm）程度で記述してある。
- 図中の文字は英語である（和文誌での図・写真・表の説明文は、和文・英文どちらも可）。
- 図・写真・表の挿入位置を指示してある。
- 提出するPDFファイルに、フォントを埋め込んである。

図・写真・表（学会が供給している LaTeX を用いて編集した場合）

- 図・写真に関しては、Fig. 1, Fig. 2（和文では図-1、図-2も可）のように通し番号を付けて本文中で引用している。
- 表については、Table. 1, Table. 2（和文では表-1、表-2も可）のように通し番号を付けて本文中で引用している。
- 図中の文字は英語である（和文誌での図・写真・表の説明文は、和文・英文どちらも可）。

- .....
- 投稿時の内容物として**構成要素**を下記の順番で1部ごとに揃えてある。

- 本文**

- 要旨**（研究速報、寄書では不要）

- 英文アブストラクト**（寄書では不要）

- Abstract**（Acoustical Letter・Short Note では不要）

- 50 ストローク以内の Short Running Title**（奇数ページに入れる簡略化した題目）

- 図・写真説明文**（LaTeX を用いずに編集した場合）

- 図・写真・表**

- 査読結果・校正の送付先住所氏名、郵便番号・Tel・Fax・e-mail**

- 研究会発表等の内容を Acoustical Letter に投稿する場合、別刷りが添付されている**

.....

- 筆頭著者は、投稿時に本学会員である（連名者も会員であることが望ましい）。

- 以前投稿時掲載不適当又は取り下げの修正再投稿の場合、前回論文番号を備考欄に記入可。

- 本投稿原稿の内容は、他学会誌も含め既発表あるいは投稿中ではない。

- 本論文の投稿にあたり、次の査読の判定項目を承知している（詳細は投稿規定付録「査読について」を参照）。

- 〈分野性〉 音響学及びその応用分野に関係するものであること。なお、分野はできるだけ広く解釈する。

- 〈新規性〉 内容が公知・既発表、又は既知のことから容易に導きうるものでないこと。

- 〈有効性〉 内容が産業や学術の発展に何等かの意味で役立つものであること。

- 〈了解性〉 論旨が関連分野の会員に十分理解できるように、簡潔・明瞭に記述されていること。ただし、著しい厳密性・完璧さ・格調の高さ等は必ずしも必要としない。

- 〈信頼性〉 論旨に矛盾がなく、結論等を信頼する上で明確な根拠が示されていること。

- 〈体裁〉 投稿規定に従って原稿が構成され、記述されていること。